

# 合併の検証

～合併から 10 年を経過して～



平成 28 年 3 月

長崎市

## 目 次

はじめに	1
1 合併の必要性・効果	
(1) 合併の必要性	2
(2) 合併の効果	3
2 合併の検証	
(1) 合併の目的は達成したか	4
ア 行財政基盤の強化	4
(ア) 財政基盤	5
①財政力指数の推移	
②経常収支比率の推移	
③財政運営のための基金の残高の推移	
④地方債残高の推移（普通会計）	
(イ) 行政基盤	10
職員数及び人件費の推移	
イ 住民福祉の向上	11
(2) 合併後 10 年の変化にどう対応してきたか	11
ア 合併後 10 年の変化	11
(ア) 人口動態	11
①人口の推移及び増減率	
②高齢者数及び高齢化率の推移	
(イ) 長崎市の財政状況	14
①歳入・歳出決算額（普通会計）	
②歳入性質別決算額（普通会計）	
③歳出性質別決算額（普通会計）	
④普通交付税・臨時財政対策債の推移	
(ウ) 歳出構造の変化	16
(エ) 歳入構造の変化	18
イ 合併後 10 年の変化への対応	20
(ア) 住民サービスの向上	20
(イ) 広域的な視点に立ったまちづくり	22
(ウ) 合併に係る財政支援状況	23
①合併に対する国の支援状況	
②合併特例債の活用状況	
(エ) 市町村建設計画関連事業着手率	24
(オ) 地区毎のまちづくり	25
3 合併に関する住民アンケートの結果	
(1) アンケート調査の目的	37
(2) アンケート調査の概要	37
(3) 回答者の属性（7 地区合計）	38
(4) アンケート結果	39
4 これからのまちづくり～今後、どのようにまちづくりを進めていくか～	57